



FKC The

Furano Kotobuki College Times

富良野市教育委員会学びのまち推進課学びのまち推進係

電話 0167-39-2318 文責：上用 眞一郎

スターリンクトレインとの遭遇！！

1月23日（金曜日）朝の5時30分頃、薪ストーブの薪を取りに裏口から薪小屋に行くところでした。麓郷の気温は-18.5℃、新月から数日過ぎた北の空の天頂には“おおくま座”の北斗七星が見えましたが、東の空の方で何かが動いているのです。流星であればすぐわかります。明るさからすると4等星か5等星ほどの人工衛星です。空気が澄み切っていたので私の目にもはっきりと見えました。

人工衛星が見えるのは珍しいことはありません。でも、今朝はちょっと違います。さらに天頂から富良野の街の方、西に目をやると、また同じような人工衛星が、ほぼ同じ速さで移動して来ます…「あれっ、あれっ?!」さらに西から東へと移動する人工衛星が見えます。4個か5個連続しているのです…連続といっても、等間隔で移動しているように見えます。

薪をとるのを忘れて、すぐ妻に伝えようと思いました。妻はちょうど娘に目覚ましコールをかけるところでしたのでこの観測時刻は間違いなく5時30分頃です。

妻も見に来るのかと思いましたが…今回はお弁当づくり（二人分）

また外に出て空を見上げると西から東へ、北斗七星の前を横切るように連なって人工衛星が移動していくのが見えました。他に違った動きをして西から東南の方に移動する少々暗く6等星以下の明るさの人工衛星もありましたが、私が見た数は10個くらいでしょうか…そのあとは寒くて薪を抱えて家に入りました。

一体この連続した人工衛星は何なのでしょう!?

大変気になっていましたので、勤務前にネットで調べてみました。するとそれは「スターリンク衛星」ではないかということです。（確かではない）

「さて、この『スターリンク』とは何か。この衛星が連続している状態を「スターリンクトレイン」と呼んでいるようです。



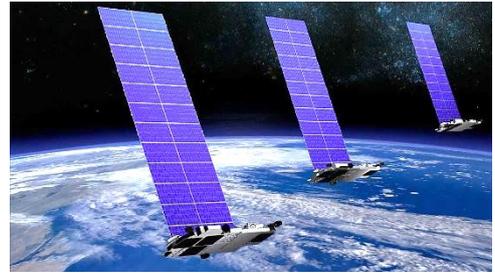
人工衛星 スターリンク グループ 17-30

1 打ち上げ時刻

2026年1月22日14時47分

2 打上げ場所

アメリカのヴァンデンバーグ宇宙基地
(カリフォルニア州)



(スターリンク衛星)

「ロケット『ファルコン9』には“スターリンク”という人工衛星を20~60機搭載して打ち上げます。

3 麓郷で見た時刻： 2026年1月23日 5時30分くらい

つまり、私は1/22にアメリカで打上げられたスターリンク衛星を10機見たということかも知れません。

20~60機をロケットファルコン9で連続して地球の周回軌道に乗せるため、連続して同じ軌道へ向けて上げられるため、時間が経てばある程度の等距離で地球上を回るのでしょう。

このスターリンク計画は、“スペースX”創業者があのイーロン・マスクが2002年に立ち上げたものです。数万機規模の小型衛星を打ち上げ、

- ①高速インターネット
- ②山間部や離島での通信可能
- ③災害時の通信確保…ということが主な目的のようです。

しかし、心配なのは地球の上空はそのうち人工衛星で一杯になってしまうのではないかとことです。

空気が澄んでいて、夜空には美しい星空が輝いている。ギリシャ神話や童話や物語を語ることもできれば、オリオン座のM42星雲に心惹かれたりしている。そんな夢の世界が人工衛星が飛び交う世界に変わってしまってもいいのだろうか…

人工衛星の目的の中には、「命の尊厳」ということも掲げられています。このITやAIが進むこれからの時代に、本当に必要なのは何なのだろうかと考えさせられました。

もし、私が見たのが、この「スターリンクトレイン」だったとしたら、奇跡的に見ることができた感動が、だんだん薄れていき、逆に将来への不安が増えてくるようにも感じました。

あれから24・25・26・27日と毎日、夜空を眺めています。スターリンクは見えませんが、見えるのは、あの「ぎょしゃ座」「オリオン座」そして私の好きな「おうし座」のヒアデス星団やプレアデス星団たち…一年で最も美しい冬の星たちがいつもと変わらず輝いています…

新年の集い・新年お楽しみ会

令和8年が、皆さんにとって飛躍の年となりますように

1月14日（水曜日）恒例のことぶき大学「新年の集い」そして「新年お楽しみ会」が盛大に開催されました。

学長から新年のご講話をいただきました。今年は60年に一度の丙午の年、この年は昔



から「勢いが強い」「エネルギーが高まる」と言われています。

あらためて、たくましく地域に根ざし定着していくことぶき大学であるよう、「学びの継続」「学び直し」を仲間と一緒に実践していきたいと思っています。

また、「新年お楽しみ会」では、北市長からいつもいただいている富良野人参ジュースで乾杯し、ビンゴゲームを楽しみました。



学長・副学長・富良野校長・山部校長・根本係長からの特別景品もあり、ゲームが大変盛り上がりしました。ちなみに私の景品には新米2合が入っていました…

学生自治会の役員の皆さんが、新年早々、この景品づくりのために図書館に集まり準備をしてくれました。

いつもありがとうございます。



(道新 1/17) 星月夜明日はいいことありそうな

ザクザクと音立て歩む冬田道

(道新 1/24) 十五夜や幼き日日は母恋し

賄いや寒さ身にしむ朝厨

菅田 泰子

平澤 那子

千葉 弘子

西田マサ子

あなたの
広場

本日、1月28日(水)学習日程



クラブ学習&健康講座

茶道クラブ：3階打合せスペース

書道クラブ：本日、3階会議室1に変更

(展示スペースは学校壁新聞コンクール開催中)

9時30分：朝の集い

9時50分：クラブ学習準備

10時00分：クラブ学習10

12時00分：昼休み・休憩

13時00分：健康講座2

「この冬を心身共に健康に過ごすために」

14時30分： // 終了

14時40分：帰りの集い

自治会役員会（会議室1）

内容：新年度に向けて

次回、2月18日(水)

クラブ学習・「コーラス」「リズムダンス」・学年別研究

今回は、2月18日、3週間後になります。クラブ学習では、「卒業記念作品展」に向けての作品づくりが中心となります。計画的に進めてください。

また、学年（課題）別研究の時間を1時間設定しました。

昨年の12月10日の研究・実践発表交流会の反省とともに、次年度に向けての話し合いがでるように各自の意見を持ち寄ることが必要です。また、新年度のクラブ学習や同好会活動の希望調査の提出が2月25日（水）になります。

東山保育所との交流会

コロナ禍で長い間中断していましたが東山保育所との交流会が実現しました。

1月21日（水）午前9時、図書館に集合し、スコップ持参で東山に向かいました。

スコップは勿論「スコップ三味線」を披露するためです。11名の可愛い園児たちと、かるた大会、健康体操、北海へそ音頭ではスコップ三味線に合わせて園児たちと一緒に踊りました。1歳から5歳の可愛い子どもたちの歌と踊りにホッコリとさせられました。ほんとに可愛かったです。



スコップ三味線演奏

1月25日（日曜日）サポートステーション“すきっぷ”のイベントでスコップ三味線を披露しました。スコップ三味線同好会の皆さん11名、全員が集合し元気にスコップを叩きました。曲目は、俺のふるさと北海道・夢見る恋人たち・北海へそ音頭、アンコールもあり、最後は「狙い撃ち」で決めました。拍手喝采でした。この機会を利用してことぶき大学を宣伝してきました。これからも地域に開かれた活動をしていきたいと思っています。





現在、図書館2階の展示スペースにおいて、市内の学校で取り組んでいる「第13回市内小学校学校学級新聞コンクール」が開催されています。中には「書道新聞」や「演劇新聞」、修学旅行でいった小樽の思い出を綴った「小樽新聞」、「山部の自然新聞」「山部農業新聞」「富良野未来新聞」、体験を題材にした「三味線新聞」など、ユニークな新聞もありました。

新聞といえば、思い出に残っていることがあります。

今から、何十年前になりますか、上富良野中学校3年の担任をしていた頃、学校祭の取組の一つに「壁新聞コンクール」があり、クラスのみならず絶対「金賞」を取る！」ことを目標に頑張ったことです。

2年生の時の悔しさをばねにし計画的に取り組みました。

壁新聞づくりのリーダーである立松君が念入りな計画と立て一文字5ミリの原稿に挑戦することになりました。

「題字」。これは新聞の最上部の新聞名のことです。これは新聞の顔ですから書体やデザインに凝ること。全体のテーマから構成、情報収集、見出しからレイアウトに至るすべて工夫しました。あの頃は写真を掲載しなかったのでイラストを描き、カラーではないため原稿の書体にも変化をつけました。まさにすべてが手作りでです。

2年間かけて取り組んだ我がクラスの壁新聞が見事！最優秀賞の金賞に輝きました。

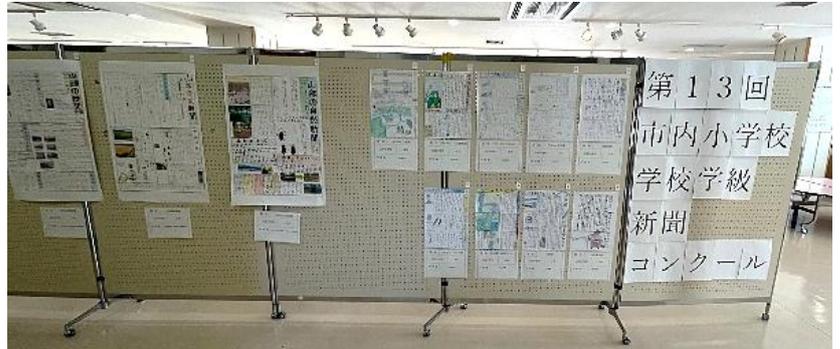
今でも覚えています。この金賞の壁新聞を「誰が保管するか」という話しになり、「担任の先生が保管するのが一番良い！」ということになりました。

そのため、今でも私の地下室に大切に保管してあります。この20年ほど開いていません。私が40才くらいの頃のものですから、32年間保管していることになりました。

もし状態が良ければ、スマホで撮影して皆さんにお見せすることもできるかも知れません。最近では、新聞を定期購読する家庭が本当に少なくなったようです。

早朝4時に朝刊が届く我が家では、配達してくださる方に感謝し、妻は新聞を愛読するというより、毎日欠かさず読み込み、(私が留守の間)赤線だらけ、帰宅したときにはもうペラペラです。

「市内学校の学校学級新聞コンクール」は新聞に縁遠くなった子どもたちにとって大事な取り組みではないでしょうか…



昨夜、地下室で保管していた壁新聞を開いてみました。

中学校3年間の壁新聞+1枚、計4枚の壁新聞がありました…

下の壁新聞が「金賞」でした…



1991年9月14日